



第254号

令和6年12月20日号

社会福祉法人 一誠福祉会

〒441-8066 豊橋市王ヶ崎町字上原1番地145
TEL (0532) 48-5115 ・ FAX (0532) 48-7811



ポニーと触れ合う利用者様 於 作楽荘 令和6年12月7日 (東愛知新聞掲載)

目 次

施設日誌／編集後記……………15	16	随想 令和6年を振り返る……………2	社会福祉法人一誠福祉会 本部長 後藤 英夫
* GHきらら	収 穫 祭 介護士 夏目 大輔	2024年の活動を振り返る……………3	社会福祉法人一誠福祉会 総務部長 青山 勉
* 運動と健康	介護士 麻布由美子	研究発表……………4	5
* 奇 楽 荘	介護士 牧野 靖子	全国老健大会に参加して……………4	5
* GHうさぎ	林 徹郎	老人保健施設ヘルユーハイツ 理学療法士	村松 佑斗
* 秋の大運動会	介護士 牧野 靖子	木の花会職員日帰り旅行……………6	グループホームうさぎ 介護士 原 均
* 奇 楽 荘	介護士 麻布由美子	特別養護老人ホーム奇楽荘 介護士	水野 忍
* GHきらら	収 穫 祭 介護士 夏目 大輔	新入職員紹介……………7	
* 運動と健康	介護士 麻布由美子	施設だより……………8	15
* 奇 楽 荘	介護士 牧野 靖子	* 作 楽 荘	
* GHうさぎ	林 徹郎	秋祭りバザーの復活 介助員 丸山 清	
* 秋の大運動会	介護士 牧野 靖子	* デイサービス作楽荘	
* 奇 楽 荘	介護士 麻布由美子	サニーちゃんアゲイン 介護士 金田 智	
* GHきらら	収 穫 祭 介護士 夏目 大輔	* ケアハウス美光ハイム	
* 運動と健康	介護士 麻布由美子	秋のバスハイク 事務員 加藤直生 江	
* 奇 楽 荘	介護士 牧野 靖子	* 倶 楽 荘	
* GHうさぎ	林 徹郎	ご馳走を食す 介護士 夏目 佳和	
* 秋の大運動会	介護士 牧野 靖子	* GHくらら	
* 奇 楽 荘	介護士 麻布由美子	寄付活動運動に協力して 介護士 野沢 尚弘	
* GHきらら	収 穫 祭 介護士 夏目 大輔	* ス 楽 荘	
* 運動と健康	介護士 麻布由美子	楽しみのある生活 介護士 松井 美香	
* 奇 楽 荘	介護士 牧野 靖子	* ベルヴューハイツ	
* GHうさぎ	林 徹郎	放水大会に参加して 屋タママ 高津 和志	
* 秋の大運動会	介護士 牧野 靖子	* DSC吉かわ	
* 奇 楽 荘	介護士 麻布由美子	昇らぬ辰 介護士 主在 滝川 一善	
* GHきらら	収 穫 祭 介護士 夏目 大輔	* デイサービス 奇楽荘	
* 運動と健康	介護士 麻布由美子	職員の手作りおやつ(は)かが 相談員 夏目 民夫	
* 奇 楽 荘	介護士 牧野 靖子	* 奇 楽 荘	
* GHうさぎ	林 徹郎	地域の高さんと楽しんだ 職業 香相賢 林 徹郎	

随 想

令和6年を振り返る

社会福祉法人 一誠福祉会 本部長 後 藤 英 夫

元旦、今年も幸せな一年

になりますようにと願った矢先の激震、能登半島地震でした。多くの建物が崩壊、道路もいたるところで寸断され、多くの方々が被災され、多くの方がお亡くなりになりました。その復旧のさなか9月には能登半島に豪雨が襲い掛かり二重の災害で被災者の方々は大打撃を受けました。

この地域にも大きな地震がいつ起きてもおかしくない可能性のある東海大地震があります。その連動性が高い日向灘を震源とする南海トラフ大地震臨時情報^が8月に初めて発令されました。その時はついに来たかと思いましたが一週間後に

解除され一安心しました。

夏場の異常気温も近年当たり前のようになりましたが今年は特に異常で愛知県では7・8月には30度以上の真夏日が55日、そのうち35度以上の猛暑日が39日と列島が灼熱状態でした。

また急速なSNSを取り巻く環境にも振り回されました。正しく使えば楽しく人間関係や社会生活を豊かにする可能性がある一方で何気ない言動が名誉棄損・侮辱・性的犯罪・業務妨害・詐欺等の刑事事件へ発展し本人の思いとは違う方向へと導かれてしまう恐ろしい事案が多く見られました。特に青少年が簡単に犯罪に巻き込まれ、闇バイトから

抜け出せず、最後には逮捕される例も多く見られました。他国では青少年を守るべき16歳未満のSNS禁止法令が可決される事態が事の大きさを物語っています。

選挙においても衝撃でした、所謂SNS選挙と言われ衆議院選・知事選・市長選でもSNSをうまく活用？した者が予想を覆す選挙結果を出しました。政府は今後どの道を選択するのか注意深く見守る必要があります。

4年に一度のオリンピック・パラリンピックがフランスパリで開催され日本も他国開催でのオリンピックで最多のメダルを獲得しました。メダルに届かなかった競技者も、熱い戦いを行いアスリートの方々の努力と進化を感じた一時でした。そして一誠福祉会での今

年の重要取り組みは人手不足解消の施策です。数年前より人材紹介・ネット・メディア・職員紹介・チラシ広告等あらゆる直接雇用対策を行って参りましたが、あまり結果はでませんでした。そこで基本給・諸手当を大幅に見直したり、給与規程改正、労務管理の適正化、就業規則の改正等の間接雇用対策と複合して行い、半年以上経った今、取り組みの歯車がかみ合い、まだまだ人手は不足して現場の方々にご迷惑をおかけしていますが、徐々に就職者が増加してきています。これも人事担当者のたゆまない努力に感謝です。来年も頼むヨ……

「Ask not what your country can do for you; ask what you can do for your country」

2024年の活動を振り返る

社会福祉法人 一誠福祉会 総務部長 青 山 勉

1 施設大規模修繕事業

中期事業計画の柱、大規模施設の修繕が昨年7月から始まり、今年の3月で完工。お色直しで綺麗になりました。

2 茶々俱樂部豊橋・新城

茶道教室本格的に再開
コロナ禍で開催できなかった茶道教室が4年ぶりに



お菓子の頂き方のお稽古

講師を招き再開しました。

礼儀マナー習得や文化継承のため修行に励んでいます。

3 2024介護報酬改定

3年に一度の介護報酬改定があり、2.04%のプラス

改定ですが、物価高、人手不足など手放しで喜べません。

4 後援会豊橋初釜茶会

1月26日、ベルヴューハウスで後援会主催の初釜を開催。感染予防のため、今回は入所者様、職員向けに実施。次回は地域向けに構想中です。

5 キャリアパス・ハラス

メント研修の実施

伊藤悟先生、手嶋史枝先生等、専門家を招き、各拠点で研修会を開催。職場環境改善のため職員一同努力

しています。

6 下江新城市長表敬訪問

敬老の日にあわせ麗楽荘に市長が来荘。施設の100歳以上の入所者様とご対面し、親交を深めました。因みに新城市内の100歳以上の高齢者は全員で57名です。

7 全国老健大会(岐阜)にて演題発表

11月14日に開催された第35回の大会に「認知加算終了後の経過と今後の課題について」と題して発表。ベルヴューハウスの村松PTが中心となり、チーム一丸となつて課題に取り組んだ賜物です(今号に抄録掲載)。

8 地域との交流推進

「地域貢献」が今年度もテーマ。昨年度に引き続き、各施設・事業所がよりパワーアップ、工夫を凝らし、イベントを通して積極的に交流を図りました。

9 職員一泊旅行実施

昨年、職員の親睦を図るため日帰り旅行を復活・実施しましたが、今年はそれに加え、一泊旅行を実施。淡路へ行き、鳴門の渦潮観光船に乗船。最高の思い出になったそうです。

10 番外

オオタニキーン最高!

50・50達成、ドジャーズ優勝などなど、世界の大谷さんの一挙一動に感動、エネルギーを貰いました。



サノヨイヨイ♪

研究発表

全国老健大会に参加して

老人保健施設ベルウユニーハイツ 理学療法士 村松 佑斗

令和 6 年 11 月 14 日に岐

阜県にて開催された第 35 回全国介護老人保健施設大会に演題発表者として参加させていただきまし

まりました。

今回の発表は時間との戦いでした。まず発表が決まってから演題登録までのメ切期間が 3 ケ月し

かりました。認知症短期集中リハビリテーション加算を簡単に説明するリハビリによって生活機能の改善が見込まれると判断された入所者に対して、医師または PT、OT、ST が週に 3 回を基準として 20 分以上の個別リハビリを 3 ケ月間実施します。

データを取ることができません。そこでリハビリとして普段から測定している HDS-R (認知機能検査) の数値、特に認知症短期集中リハビリテーション加算中は毎月測定していた為、その数値の変化と ADL の関係について発表を行う事に決

抄録、原稿を作成していく過程では同じ部署内の上司や同僚にデータのまとめや抄録のチェック、修正等多くの協力をしていただき一人では絶対間に合わないと思っていた期限内に何とか完成させる事ができました。本当にありがとうございます

した。

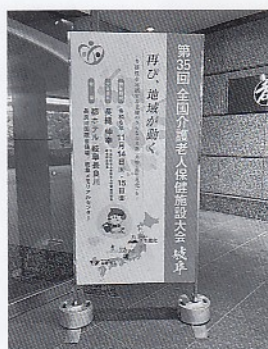
当日は岐阜駅から市バスに乗って会場入りする予定だったので、駅から改札を出てすぐ老健大会のスタッフの方が道案内をしていたり、バスが参加者で満員になったりと大会の規模の大きさを感じて、少しずつ緊張感が高まっていきました。

会場に到着すると 3 施設 19 会場で講演や発表が行われており参加者も北海道から沖縄まで全国各地から集まっていました。私の発表は後半の方でしたので最初は比較的にラックスしながら他施設の発表を聞くことができました。その中でも興味深かったのが発表されていた施設の多くが「生産性向上推進体制加算」を取っている事、ICT や最先

端のロボティクス技術を駆使したリハビリテーション機器を導入している施設も増えてきており、時代の流れと共に介護、リハビリの現場も進化している事を強く感じました。

そのような話を聞いてみるとあつという間に自分の発表の順番となりました。とても緊張しましたが同行した榊原先生の協力もあり無事終える事ができました。

最後に今回の全国老健大会参加を通して得た貴重な経験を今後の業務に活かしていきたいと思っております。



テーマ「再び、地域が動く」

認知加算終了後の経過と今後の課題について

～ コロナ禍の経験 ～

社会福祉法人 一誠福祉会

老人保健施設 ベルビューハイツ

◎村松 佑斗¹⁾、大野 雅弘²⁾、榊原 莖太¹⁾、白井 沙織¹⁾、杉本 昌洋¹⁾

1) 理学療法士 2) 作業療法士

【はじめに】

認知症短期集中リハビリテーション加算(以下認知加算)は、認知症と診断されて入所された方の中から、リハビリテーションによって生活機能の改善が見込まれると判断され、Mini Mental State Examination(MMSE)または改訂長谷川式簡易知能評価スケール(以下HDS-R)において概ね5点～25点に相当する方が対象となる。当施設では認知加算終了後に認知機能訓練を継続していく為、集団リハビリを実施していたがコロナ禍の影響で感染防止及びマンパワーの不足等によりやむを得ず行えない期間が何度かできてしまった。そこで今回、認知加算終了後認知機能訓練が実施できなかった入所者の経過と今後の課題について検証した。

【対 象】

医師の指示の下、新規入所者又は今までに認知加算を算定した事のない再入所者計13名。内訳は男性0名、78歳～99歳の女性13名、平均年齢89.4歳、認知加算開始時のHDS-Rは7点～21点で平均13.8点だった。

【方 法】

身体機能訓練と並行して1回20分以上、計算や漢字の書き取りの課題、間違い探しや時計合わせ等のプリント、パズルやトランプ(神経衰弱)を中心に週3回3ヶ月間実施した。HDS-Rを認知加算開始時から終了までの1ヶ月毎の計4回、認知加算終了後は6ヶ月後に測定を実施した。加えてFunctional Independence Measure(以下FIM)を認知加算開始時と認知加算終了6ヶ月後にそれぞれ測定した。又、認知加算と短期集中リハビリ加算を同時に算定している入所者もあった。

【結 果】

認知加算終了後には開始時のHDS-Rの点数に関わらずほぼ全員に認知機能の向上が見られた。しかし、認知加算終了から半年後の検査では、ほぼ全員にHDS-Rの低下が見られ、低下の幅は1点～6点までだった。又、13名中の8名が開始時に近い点数まで低下していた。開始時より低下している入所者は7名だった。低下が見られた入所者の中でも身体機能が維持できていて、日常生活動作における自立度の高い入所者はHDS-Rの点数の低下幅が小さかった。一方で、認知加算算定中から認知加算終了後にFIMによる点数の低下が確認された対象者程、HDS-Rの低下幅が大きくなっていった。具体的には自立歩行が維持できている対象者はHDS-Rの低下幅が小さく、自立歩行から車椅子へと日常生活動作レベルの低下が見られた対象者は低下幅が大きくなった。

【考 察】

認知加算算定中は特に短期記憶や日時の見当識を中心に認知機能の向上が見られた。そこで認知加算算定中から自主訓練として脳トレプリントやパズルを実施、新聞を読む時間を作る、リハビリ時や他部署の協力を得てレクリエーション等で日時季節の見当識を再確認する等を習慣化していく事で認知機能の低下を少しでも防ぐ事ができたのではないかと考える。

また、HDS-RとFIMの推移から日常生活においても歩行を中心に自分で行えている能力を老健入所へと環境が変わってもしっかりと維持していけるかが重要である。

【まとめ】

認知加算終了後コロナ対策における様々な制限期間もあり、ほとんどの対象者が認知加算開始時に近い点数まで戻ってしまった。認知加算終了後も認知機能低下予防に向け、リハビリだけではなく介護職や他部署の協力を得ながら取り組む事の重要性を再確認する機会となった。

木の花会職員日帰り旅行

グループホームうらら

介護士 原 均

十月三十日、行き移動中に少しの雨が降りましたが、現地についた時には天気も回復し、絶好の行楽日となりました。

昼食は昼神温泉郷にある湯多利の里伊那華さんで頂き、バイキング形式でしたが、りんごの天ぷらをはじめ品数豊富でも美味しかったです。

その後、国の有形文化財に指定されている杵原学校に移動し、見学しました。簡単な授業があるとのことので古い教室に案内され、一番前に着席した私が号令係をすることとなり、手持ちの鐘を鳴らしてから、「起立、気をつけ、礼」と

と言ひ、懐かしい体験をさせていただきました。授業

は杵原学校の歴史と童謡二曲を歌う音楽の計二時間の授業。終了後にはハガキ大の卒業証書が参加者全員に授与されました。

行程の最後にいよいよりんご狩り体験です。シナノスイートという品種のりんごで、お土産として後日、入居者様におやつ時間に提供しました。「甘くて美味しい」と喜ばれ、美味しいりんごを穫れて良かったです。



りんごはこれがいいかな？

特別養護老人ホーム 奇楽荘

介護士 水野 忍

前日から雨が降ってお当日は曇り空から晴れになり旅行日和でした。

昼食は天皇皇后両陛下も御宿泊された事のある湯多利の里でバイキングを頂きました。中庭には色づき始めた紅葉の葉がちらほらあり、風情を感じる事ができました。

昼食後は旧杵原小学校へ移動し校舎内を見学しました。国指定登録有形文化財となっている校舎で、トライアングルやカスターネットなどの打楽器で演奏しながら歌を唄い、一時童心にかえることができました。また、ここは映画のロケ地にもなっており多くの俳優さんた

ちが訪れて撮影された場所でもありました。



昔を思い出しました

その後は楽しみにしていたりんご狩りです。三和農園では、色々な品種のりんごを作っており見渡す限りのりんご畑が広がっていました。みなさん真剣に品定めし、一人五個のりんごを選んでいました。初めての果物狩りや昔を思い返す場所を訪れる事ができとても充実した一日となりました。楽しい企画をありがとうございました。とうございました。

新入職員紹介

(令和6年6月～8月)

今後ともよろしくお祈いします!

- ① 趣味・特技 ② 好きな食べ物 ③ 今はまっていること
- ④ 最近嬉しかったこと ⑤ 今の仕事で頑張っていること



村田京子さん

老人保健施設 ベルビューハイツ
相談員 正職員
令和6年7月1日入職

- ① 読書 ② パスタ ③ 映画を観る
- ④ 旅行
- ⑤ 利用者・ご家族様、多職種の方と関わる中で、それぞれの立場を理解して対応しなければならないこと。



森下 亜希子さん

特別養護老人ホーム 作 楽 荘
看護師 正職員
令和6年8月19日入職

- ① 旅行、カラオケ ② チャーハン、お好み焼き ③ 洋裁教室
- ④ 入居者様が「今日は居てくれてうれしい」と笑顔を見せて下さったこと。
- ⑤ 入居者様が安心して、苦痛少なく、リラックスしてその人らしく過ごせるように、作楽荘の一員として出来ることをしたいです。



竹本 愛綾さん

特別養護老人ホーム 麗 楽 荘
介護士 正職員
令和6年8月19日入職

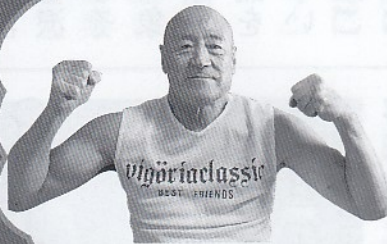
- ① アニメ、ドラマ(ミステリー系)を観ること。
- ② さつま芋スイーツ ③ ゲーム
- ④ GENERATIONS のライブに行けたこと。
- ⑤ 介護の仕事は初めてなので仕事を覚えることと、利用者様が笑顔で楽しく過ごせるように頑張っています。



坂口 宏美さん

特別養護老人ホーム 作 楽 荘
看護師 準職員
令和6年6月1日入職

- ① 羊毛フェルト ② チョコレート
- ③ 高齢の愛猫の介護
- ④ しばらくぶりに友人に会えたこと。
- ⑤ 今までの職場環境と違う働き方とにかく慣れていきたいです。



岸部 敬次さん

デイサービスセンター 作 楽 荘
運転手 準職員 令和6年8月5日入職

- ① ゴルフ(今はほとんど練習場にて球打ちです。) ② 魚介類
- ③ 半年位前に友人に柔道の稽古に誘われ、今は週1～2回ほど通っています。柔道は5年位没頭していた時期がありまして、最高のストレス解消になります。
- ④ 利用者様が名前や顔を覚えてくれたこと。 ⑤ 時間内での送迎です。



Merry Christmas

施設だより

作楽荘

○秋祭り・バザーの復活

介助員 丸山 清

十一月二日、作楽荘秋祭りの各種イベントの一つとして、五年ぶりのバザーを企画、開催いたしました。

開催告知のポスターが張り出されると、「今年はやるだね。いつだん？必ず行くで」など近所の方から多数お声かけ頂き、関心の高さが伺えます。さて、秋祭りの当日、いつもより少々小ぶりな集会室がバザー会場。心配していた天気も職員の願いが通じたのかなんとか持ちこたえてくれました。

開始時間まではまだ時間があるのですが、近隣



沢山買って行ってね

住民の方々が徐々に集まっています。準備した整理券の配布時間になり手渡して行きます。今回整理券を配布したことにより、混乱もなくゆったりと品定めができ、また他の模擬店や作品展示を楽しんで頂く時間も取れたようでした。好評でした。感染対策も三密を避け、マスクも着用していただくなど抜かりありません。

職員のご家族もバザー

に参加され、会場は盛況でした。ぬいぐるみを沢山抱えたお子様が嬉しそうにされていたのも印象的でした。また、皆様両手に抱えるほどの物品を買い求められ、「楽しいねえ」と来場なされたご近所様の笑顔が輝いておられました。

バザーを実施するにあたり、多くの皆様から物品をご寄贈いただきました。厚く御礼申し上げます。



模擬店も大盛況

デイサービス作楽荘

○サニーちゃんアゲイン

介護士 金田 智

令和六年度事業計画の中の移動動物園を実現させる企画に伴い、令和六年十月二十六日、仔馬のポニーを当事業所に招く事になりました。ここでポニーを作楽荘に呼ぶ経緯を説明させて頂きます。

あれは二年前の三月下旬、高師緑地公園に花見に行きました。しかし私の日頃の行いが悪かったため、桜は一輪も咲いていないという悲惨な状態でした。途方に暮れた私の視界になんとペガサス(ポニー)が飛び込んできました。落ち込んでいた私に一筋の光、まさに救世主でした。そこで一

緒に写真撮影をして頂いた事がありました。この度、ネット検索で連絡先を探し、このような会を開く事が出来ました。



人参が大好き

写真撮影や餌やり体験を利用者様と行ないました。「かわいい」「何歳？」と頭部をナデナデしながらふれあって頂きました。しかし、一番ふれあっていたのは私自身で、人生初の乗馬を体験させて頂きました。今でもその感触が忘れられません。

最後にポニーちゃんを紹介をさせて頂きます。名前はサニーちゃん。馬

年齢六歳、人間年齢は二十代の雄です。人参をバクバク食べ、元気でおとなしい仔馬さんです。

この会がきっかけで今回、十二月七日に再度ふれあい会を行なう事になり、何と十二月二十四日、夕方六時に中京テレビのニュース番組「キャッチ」で放送される事になりました。



サニーちゃん、また来てね

ケアハウス美光ハイム

○秋のバスハイク

事務員 加藤 直生 江

十月のバスハイクは、予定していた「道の駅」から、入居者様の希望により「のんほいパーク」と、六月のバスハイクで好評だった「六巻珈琲」にてモーニングの二コースから選択となりました。

どちらも行くと前から楽しみにしておられ、わくわくソワソワ。「動物園に行く時の昼食は？何時に集合で何時に行くの？」と質問攻めでした。

モーニングは、前回より参加者も多く、「どれにしようかな？」と選ぶ楽しみや、店内の雰囲気を楽しませていただきました。

動物園は、「何を見に行

こうか？」と、あれもこれも見たい思いが先立ち、気ばかりが焦っていたようですが、ペンギンやレッサーパンダを前にした時、「可愛いね。ぬいぐるみみたい」と見入っている姿に一安心。広い園内で開放感があったせいか童心に戻ったようにはしゃいでおられました。

引き続き外出企画に参加できるよう、いつまでも健康でいて下さることを願います。



屋外の散策は楽しい

倶楽荘

○ご馳走を食す

介護士主任 夏目 佳和

十一月十四日にAユニツトイベントランチを行いました。今回は私が企画で、どうせならいつもと違う趣向で行いました。ここ倶楽荘は魚市場に近いことから材料はそちらで調達しました。

皆さんはサワラという魚はご存じでしょうか？ 鯖と書きますが、実は秋から冬にかけて脂がのり、今が旬を迎える魚です。今回は鯖の解体ショーと天ぶらパーティーです。用意できた鯖は七十cm程の大作です。尾頭付きの魚を見てもらうと、皆さんのテンションが上がるのがよく分かりました。



味も太鼓判、絶品です！

無事に解体も終わり、天ぶらパーティーの始まりです。ただねは鯖とエビの他、旬のさつま芋などを食べてもらいたいで、目の前で調理しました。他にも新鮮なお刺身と里芋の豚汁を用意しました。ご馳走を前に「今日は何の日？ 敬老会か？」といったもより食欲が旺盛な様子で、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

GHKくらら

○寄付活動運動に協力して

介護士副主任 野沢 尚弘

今回始めて、外部交流の一環として、明治安田生命さんと協力し、十一月五日にペットボトルキャップを贈呈する会を行いました。

回収の目的は、回収したペットボトルキャップを回収業者に提供し、ペットボトルキャップの量に応じた金額で引き取ってもらい、その金額を発展途上国の子供たちのワクチンを購入する費用に充ててもらおうといった取り組みです。

当事業所だけでなく、当法人他施設のベルヴェーハイツでもペットボトルキャップを集めてもら

い、大きな袋いっぱい、ペットボトルキャップが集まりました。

一つのキャップはとも軽いのにもすごい数になると一人では持てないくらいの重さになっていました。入居者の皆さんはそのペットボトルキャップの量を見てとても驚いていました。

この様な取り組みを今後もできることから続けていきたいと思えました。



キャップも積もれば山となる

ス楽荘

○ 楽しみのある生活

介護士 松井 美香

施設内で過ごすことが多い入居者様に少しでも季節を味わってもらおうため、今年は屋外で三つの競技をユニット対抗で運動会を開催しました。

昼食の助六寿司で腹ごしらえした後に屋外へ。皆さんハチマキを巻いて準備万端。各ユニットのキャプテンによる選手宣誓と共に全員で手を突き上げ、大きな声で「えい、えい、おー」でスタート。競技の「玉入れ」ではカゴに入った玉の数を皆で数え、「ボール送り」では声を掛け合い隣の人へボールを渡し、「パン取り競争」ではスタートライ

ンで名前を発表し、好みのパンをゲットしてもらいました。二時間弱と短い時間でしたが大きな声で応援したり、楽しそうに笑ったりと素敵な笑顔をたくさん見ることが出来ました。私達職員もとても楽しい時間を過ごす事ができました。

楽しみのある生活を送る事でQOLが向上し、明るい生活を送る事ができます。今後も新鮮で刺激になるイベントを計画していきたいと思えます。



優勝おめでとう！

ベルビューハイツ

○ 放水大会に参加して

居宅ケアマネ主任 高津 和志

十月二十六日に開かれた第五十七回豊橋市自衛消防連絡協議会放水競技大会二号消火栓の部において、私が応援団長、指揮者・今泉介護士、隊員・花井介護士の計三名で参加しました。

今年も昨年に続き、準優勝の成績を収めることができました。今回は出場を諦めるか非常に悩みました。これまでこの大会には連続出場しており、毎年誰に出てもらうかは、その年の防災委員の大会担当が決めていました。自分の時に出場しなくなったと名前を残したくな

かったもので、一か八かで職員に声をかけていきため、どの部署も忙しいため、二名決めることにとても難航しました。出場を決断してくれた兩名現場責任者、穴を埋めてくれた職員の方には大変感謝しております。

出場するからには優勝奪還を目標とし、私も含め練習に励んできました。「ビリでもいいから、楽しもう」の気持ちで本番に臨み、結果は前述の通りです。後日になり分かったことですが、出場した部門の中で唯一私達のチームは減点がなかったのです。優勝旗は逃しましたが、正確に競技ができたことは大変誇らしいことだと思えます。

✿ DSC吉かわ

○昇らぬ辰

介護士主任 滝川 一善

早いもので「辰年」も終わろうとしております。振り返れば竜が暴れるが如く激動の年でありました。過去に例を見ないほどにトラブルが頻発し、その都度あれやこれやの日々。プロ野球のドラゴンズよろしく、こうまで思い通りにいかない年もそうそうありません。ご利用下さっている皆様には極力迷惑をかけぬよう腐心した年でした。

吉かわでは多くの方がコロナやインフルエンザにも感染せず、元気に通われたことを嬉しく思います。だからこそ毎月のイベントも職員一同で頭

をフル回転させ、皆様楽しんでもらいつつ、さらに免疫力を向上させようと目論んだ次第。功を奏したものと自負しております。

この一年、DSC吉かわをご愛顧くださいました皆様と、何だかんだ言いながらも奮闘してくれた職員各位に感謝申し上げますとともに、来る新年におきましても変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。



体力・免疫力を向上しよう！

✿ デイサービス麗楽荘

○職員の手作りおやつはいかが

相談員 夏目 民夫

デイサービスセンター麗楽荘では、職員の手作りおやつを定期的に提供しています。おやつ作りが得意な職員ばかりではありませんので、工夫をしながら少しでも利用者の皆さんに喜んで頂けるように心がけています。



レシピ通りかなあ？

手作りの多くは電気プレートや電子レンジを使

用しますが、限られた時間内に作らなければならぬので、どうしても同じ様なメニューとなってしまいます。



美味しかったね!!

それでも利用者の皆さんは、「とてもおいしかったよ!」「職員の皆さんが作る手作りおやつを楽しみにしているよ」と仰って頂き、お世辞でも創作意欲が掻き立てられます。次回はどんな「手作りおやつ」で喜んでいただくかな。お楽しみに!



○地域の皆さんと楽しんだ麗楽祭

生活相談員 林 徹郎

十一月三日の文化の日、麗楽祭が盛大に行われました。ここ数年は感染症の影響を受け規模を縮小して参りましたが、今年 は従来の規模には及ばないものの少し拡大し、地域住民の方々をお招きして文化の日を楽しんでいただき、地域との交流を活性化させることをコンセプトとしました。

麗楽祭の準備を進めるに当たり、先輩職員からアドバイスを頂きながら検討し、「今まで実施したことのない目玉となる催し物ができないか」ということになり「キッチンカー」に来荘してもら

い、美味しい物を食べていただくと考えました。当日都合の良い業者の方が見つかりましたが一店舗では寂しいため同業者の方にお声掛けいただき、おにぎりのキッチンカーとクレープのキッチンカーに来ていただくこととなりました。



キッチンカー来荘

最終的なイベント内容として①入所者・利用者様の作品展②キッチンカー③職員による露店④新城市ほうらい吹奏楽団に

よる演奏会⑤餅投げとなり、矢部地区の皆様にご足運んでいただくためにチラシを作成し配布しました。

当日は朝から快晴となりボランティアのはぐるまの会の皆さんも駆けつけてくれました。

午前は作品展の鑑賞と露店やキッチンカーで楽しみました。「焼きそばがおいしいね」「クレープも普段食べられないからおいしいね」など入所者様からの声が聞こえてきました。

午後からは新城市ほうらい吹奏楽団による演奏会です。「小さい秋見つけた」を始め加山雄三さんの「君といっまでも」など楽しい演奏会となりました。



ほうらい吹奏楽団の演奏会

最後は餅投げです。和光ハイムの二階からお餅やお菓子が投げられると皆我先に突進です。多くの子供さん方にも喜んでいただけました。

数年ぶりに規模を拡大したこともあり、多くの反省点も見受けられましたが次回に向けての励みにしていけたらと思っています。最後に麗楽祭にご協力いただいた多くの皆様にご厚くお礼を申し上げます。



○秋の大運動会

介護士 牧野 靖子

十月十日、当ホームの二階で運動会を行いました。種目はパン食い競争と玉入れです。パン食い競争では、スタートから四・五メートル先のゴール地点にパンを吊るして、早くパンを口で取ることが出来た方の勝ちというルールで行いました。三名ずつ順番に行いましたが、ルールなんて有って無いようなもの、ゴール地点まで来ると、美味しそうなパンを目の前に、「口でパンを取るなんて悠長な事なんか出来ない」と言わんばかりにすぐに口で取ることを諦めて手を使う方もいました。

それでもパンをゲットできて満面の笑顔、嬉しそうな表情にこちらもほっこりしました。

玉入れでは職員の背負ったカゴに玉を入れるはずが、玉が職員に当たってしまい、それを見て笑っている方もいて、とても楽しそうでした。運動会はフロアで行う小さなものでしたが、参加された皆さんには、大きな思い出になったのだと思います。



パン食い競争

○運動と健康

介護士 麻布 由美子

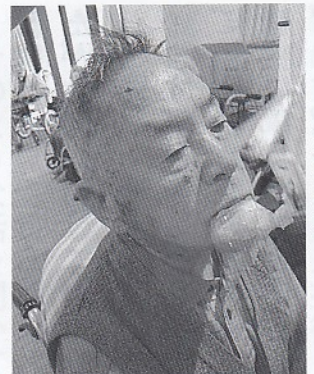
十月二十一日に運動会を開催しました。

競技の一つ、パン食い競争では車椅子の方が多く職員が介助しながら進行することにしました。

「よいいスタート」の掛け声で、二名ずつパンの吊るされた所まで進みます。大きな口を開けながら頭を動かし何とかパンを捕らえようとしますがなかなか取れず、その様子を見て皆さん大笑い。あまりに取れず、最後には手を使っている方もいました。各々参加していくうちに皆さんの表情も明るくなり声援も大きくなっていました。



真剣勝負！



終了後は、各ユニットにて参加賞のお菓子やパンを食べながら笑顔で「楽しかった」と振り返る方、昔の思い出話しをされる方もみえました。運動会を通して身体を動かしたことで、コミュニケーションが増え、心身の健康維持に繋がるのだと改めて感じました。一人で企画や準備をするのは大変でしたが、入居者様や職員が一緒になって盛り上がっているのを見て、開催出来て本当に良かったと思いました。



○収穫祭

介護士 夏目 大輔

当ホームでは入居者様ご指導のもと、一緒に畑で旬の野菜を大切に育てています。

毎年晩秋には入居者様と手塩にかけて育てた野菜を収穫し、バーベキューをする収穫祭を行っています。昨年はインフルエンザの影響で開催出来なかつたため、今回の収穫祭をとて楽しんでみられています。

二週間前にさつま芋、里芋を収穫し、美味しくなるように芋類を当日まで寝かしておきます。他に旬の秋刀魚と皆さん大好きな豚肉、当日の朝に

畑で採った新鮮な野菜を用意しました。

晴天の中、屋外の庭園で心地の良い秋風を感じながら食べる旬の食材の味は格別でした。入居者の皆さんは「美味しいね」「また来年もやってね」等仰って頂き、終始笑顔で楽しまれました。今後も入居者の皆さんが自然と笑顔が溢れるような催しを企画し、行っていききたいです。



庭園でBBQ

本部 日誌

- 令和6年11月
- 1日 木の会幹事会(於 斯楽荘)
- 6日 本部会議(於 斯楽荘)
- 木の会花会帰りに旅行(長野県飯田)
- ハラスメント研修(於 麗楽荘)
- 木の会花会一泊旅行(兵庫県淡路、13日)
- 12日 庄内茶々研修(於 麗楽荘)
- 15日 庄内茶々研修(於 作楽荘)
- 20日 庄内茶々研修(於 B.V.H)
- ハラスメント研修(於 作楽荘)
- 第五回理事会(於 作楽荘)

作楽荘 日誌

- 令和6年11月
- 2日 作楽荘秋祭り
- 11日 宝陵高校介護実習(2名)
- 13日 藤ノ花フェスタ(於 藤ノ花高等学校)
- 14日 寿司祭り
- 15日 コロナウイルス予防接種
- 18日 防災BCP委員会施設内研修
- 21日 焼き芋会
- 28日 連絡会議
- 29日 虐待防止委員会施設内研修

美光ハイム 日誌

- 令和6年11月
- 2日 秋祭り(美光喫茶)
- 3日 カラオケクラブ(12日・17日・26日)
- 10日 みんなで歌う会(24日)
- 15日 コロナウイルス予防接種
- 16日 茶話会
- 25日 定例会
- 健康チェック
- 29日 アフタヌーンコンサート
- パステル画
- 随時 園芸クラブ

倶楽荘 日誌

- 令和6年11月
- 3日 入所者健康診断(T.S.K、28日)

- 6日 移動スーパー買物(毎週水曜日)
- 12日 運営推進会議
- 14日 Aユニット会議
- 15日 イベントランチ
- 16日 Bユニット会議
- 22日 倶楽荘連絡会議
- 25日 訪問理美容(きれいや)
- 26日 Cユニット会議
- 福祉体験学習(牟呂中学校)

GHKくらら 日誌

- 令和6年11月
- 2日 誕生日会
- 5日 エコキャップ活動(受渡し会)
- 6日 移動スーパー買物(毎週水曜日)
- 12日 運営推進会議
- 15日 誕生日会
- 19日 おやつ作り
- 22日 倶楽荘連絡会議
- 26日 訪問理美容(きれいや)
- 福祉体験学習(牟呂中学校)

斯楽荘 日誌

- 令和6年11月
- 4日 斯楽荘連絡会議
- 8日 運営推進会議
- 12日 運動会
- 19日 コロナウイルス予防接種
- 21日 訪問理美容(きれいや)
- 23日 高井地区防災訓練参加
- 26日 Bユニットミーティング
- 28日 作楽荘連絡会議
- 29日 Aユニット誕生会
- 30日 リーダーミーティング

ベルヴェユールハイツ 日誌

- 令和6年11月
- 5日 職種別会議(保健師)(山崎 於 あいトピア)
- 8日 成年後見講演会(菅沼副主任・数井(あいトピア))

OSC吉かわ日誌

令和6年11月

- 11日 運営推進会議(数井 於 真寿苑)
- 12日 職種別会議(主任ケアマネ)堀内主 任リモート会議)
- 13日 うつ講演会(数井 於 豊橋市保健所)
- 14日 豊橋市民病院看護学生看護実習(22日)
- 22日 認定看護管理者教育課程セカンド レベル実習(豊橋市民病院看護師) 広域的地域ケア会議(堀内主任 於 あいトピア)
- 26日 職種別会議(社会福祉士)(菅沼副主 任 於 豊橋市役所)
- 27日 茶話会(堀内主任・数井・高津主任・ 福島 於 ライフポート)
- 29日 職員資質向上研修(数井 於 豊橋公 会堂)

麗楽荘日誌

令和6年11月

- 1日 生け花クラブ(加藤温暉講師)
- 3日 麗楽祭
- 5日 移動販売(シャローム)
- 6日 書道クラブ(加藤美代子講師)
- 25日 浴室給湯循環装置定期点検(矢作ピ ル&システム)
- 23日 感染対策委員会
- 22日 習字教室(佐藤征子講師)
- 21日 感染対策委員会
- 20日 防災委員会
- 18日 季節の花週間(23日)
- 15日 芸能顧問(金田ひよこ様)
- 6日 消防設備点検(常友保守センター)

和光ハイム日誌

令和6年11月

- 11日 介護実習受入(宝陵高校3名)22 日)
- 12日 介護実習受入(宝陵高校2名)15 日)
- 移動販売(もつくる新城)(26日) 給食会議
- 介護従事者向けのメンタルヘルス 研修(大里副主任、鍋田 於 新城文 化会館)
- 14日 新城市介護認定審査会(海野副主任 於 新城市役所)
- 15日 寿司祭り
- 16日 連絡会議(入所判定会議)
- 19日 BCP(感染症)についての研修
- 介護実習受入(宝陵高校2名)22 日)
- 認知症研修会(鍋田 於 豊川市民病 院)
- 22日 コロナウイルス予防接種
- 25日 誕生日献立
- 1日 和の会
- 3日 生花教室(加藤温暉講師)
- 6日 麗楽祭
- 3日 書道教室(加藤美代子講師)
- 11日 訪問リハビリ
- 15日 茶白山厚生病院定期受診
- 20日 茶白山厚生病院定期受診
- 21日 訪問リハビリ
- 22日 親睦会
- 22日 体操教室(今泉勝代講師)
- 22日 コロナウイルス予防接種

GHI日誌

令和6年11月

- 3日 文化祭
- 8日 運営推進会議
- 13日 焼き芋会
- 15日 ドライブ
- 20日 誕生日会

奇楽荘日誌

令和6年11月

- 2日 J笑門訪問販売(毎週水曜日)
- 3日 麗楽祭へ参加
- 22日 コロナウイルス予防接種
- 23日 誕生日会
- 25日 紅葉狩り

GHIきり日誌

令和6年11月

- 3日 麗楽荘文化祭参加
- 5日 訪問診療(宇利)
- 6日 みかん狩り(宇利)
- 7日 訪問診療(吉祥)
- 8日 みかん狩り(吉祥)
- 11日 八名子ども園合同芋ほり
- 17日 新城歌舞伎鑑賞
- 22日 コロナウイルス予防接種
- 24日 ビザ作り
- 24日 俺ん家食堂
- 28日 のんほい(ルロット)はぐるまの会)
- 運営推進会議

作楽荘グループ・BVHグループ・麗楽荘グループ



施設概要・ブログ等を公開

UD FONT

見やすいユニバーサル デザインフォントを 採用しています。

VEGETABLE OIL INK

環境にやさしい 植物油インキを 使用しています。

編集後記

「文字が読めることは奇跡」と 大好きな漫画の中の一文。 文字の起源は紀元前3500 年頃、メソポタミア(現在のイ ラク)でシユメール人が発明し た、粘土板に刻まれた楔形文字。 文字の発展により、情報の伝達 や蓄積能力が飛躍的に拡大し ていきました。

15世紀には活版印刷が発明さ れ、火薬、羅針盤と並んでル ネットサンス期の3大発明といわ れ、これは「活字」と呼ばれ る文字の型を並べた版を作り、 そこにインクをつけて紙に圧力 をかけ転写する印刷技術です。 情報を大量生産することを可 能にし、文明や文化の発展に 寄与しました。

今の文字の伝達はご存じのと おりSNS。文字は氾濫し、生活 は良くも悪くも一変しました。 文字で伝えることの尊さを今一 度考えてみてはどうでしょうか。 機関誌「作楽」を一年ご愛読 いただきありがとうございます。 今後も活きた字を皆様にお 届けできたら幸いです。

(T・A)